

広報 たまっくり

人口と世帯数

49年12月1日現在

(単位・戸、人)

総人口 13,897人

男 6,818人

女 7,079人

世帯数 3,085戸

(毎月1回発行) 発行人町長坂本常蔵 昭和38年1月23日第三種郵便物認可
印刷所 さんゆう社印刷 定価20円



沼田兵部さん (元消防団長)

勲六等瑞宝章を受く

永い間、消防団のために して町消防の発展に多大の貢 部さんが、勲六等瑞宝章をお
力を尽され、「消防団長」と 献をされてきた、里の沼田兵 受けになりました。

沼田さんは、大正十三年に玉造町消防組(消防団の前身)の組員となって以来、三十年有余、町消防発展に尽されてきました。
特に、合併後の消防団長として、消防組織の一本化をはかり、現在の五分団二八部制の基礎を築き、また、破壊消防(火事に際して、大火となるのを防ぐため、周りの家屋をこわす消火方法)を、はじめて採用するなど、多くの業績を残された方です。

写真は

受賞を喜ぶ

沼田兵部さん



生活の一部にしよう 火の点検

日頃鍛えた技を発揮

消防団秋季点検とポンプ

操法競技大会開かる

十一月二〇日、中学校グラウンドで、消防団の秋季点検とポンプ操法競技大会が開かれました。この大会は、同時に、県ポンプ操法競技大会の玉造地区予選を兼ねており、県消

熱戦のひとこま



防関係者を審査員に迎えての大熱戦がくりひろげられました。

この結果、消防自動車部の本部チームが、小型動力ポンプの部で、第一分団第四部（西蓮寺）チームが、優勝、県代表に選ばれました。

尚、選ばれた第一分団第四部チームは、十二月十日、麻生中学校で開かれた、県大会において、小型動力ポンプの部で、見事、優勝しました。

消防車、町内をパレード

防火パレード行なわる

十二月二日、町消防団所属の消防車による、防火パレードが行なわれました。これから、春にかけては、ストーブなど暖房器具による火事、煙草の火の始末による火事など、火災の多発するシーズンです。そこで、火災の予防と、火の点検を訴えるため、消防車のパレードが行なわれたわけです。この日、パレードの一行は、町内をくまなくまわりましたが、これに限らず、火の用心には、心を配りたいものです。



町の消防車
現在 7台

長い間、御苦勞様でした

元消防団員に、永年勤続

消防庁長官賞、贈らる

十一月二〇日、ポンプ操法競技大会の席上、元消防団員に贈られる、永年勤続消防庁長官賞の伝達式が行なわれ、町長により、伝達されました。受賞者は次のとおりです。

元部長	栗又 実
元班長	大久保勝雄
元班長	関野 栄
元班長	関野 吉和
元班長	飯島 勇
元班長	西谷 尚泰
元班長	橋本 栄新

元班長	田中 菊次
元班長	関野 喜助
元班長	飯島 秀男
元班長	堀江 真
元班長	鬼沢 光男
元班長	出沼 芳男
元班長	中島 正雄
元班長	茂木 忠男
元班長	熊谷 武平
元班長	関口 甲
元班長	平野 誠治
元班長	鈴木 三郎

次のページに続く

元団員	堀 祐一郎	元班長	千ヶ崎武男
元班長	小松崎隆吉	元団員	千ヶ崎進
元班長	茂木 豊	元団員	原田 亀喜
元班長	松本 昇	元団員	郡司 勇一
元班長	仲島 幸次	元団員	土子 正芳
元班長	市村 清寿	元班長	藤枝 雅一
元班長	石田 昇	元班長	栗又 茂
元班長	渡辺 豊一	元団員	高塚 栄
元班長	堀 弘	元分団長	高野 昭夫
元班長	小沼 進	元副分団長	小松崎 隆
元班長	若泉 啓介	元班長	須貝 貞男
元班長	飯島 久光		

栄えある文部大臣賞受賞

玉造町体育協会

十月十日体育の日、地域における社会体育の発展に多大の貢献をしたという理由で、玉造町体育協会が、文部大臣賞を受賞しました。

体協は、四十四年二月創立以来、町民の体育向上に力を入れていることを主眼として、卓球、バレー、スキーの三種目の指導員を養成する一方、軟式庭球、水泳、剣道、ダンス、ママさんバレーなどの、スポーツ教室を主催し、スポーツ人口の拡大の上で、着実な実績を残してきました。

その実績が認められて、文



高野 助エ門丈

第16回

茨城県統計大会開かる

郡司 貢さん 知事表彰

高野うめさん 統計協会

総裁表彰を受く

十一月十五日、水戸市民会館において第十六回茨城県統計大会が開かれました。この

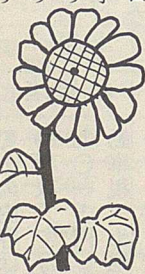
大会の目的は統計思想の普及と向上と統計関係者の志気高揚とにあり、永年勤続が、統計事業の発展に貢献された統計調査員等の表彰も大きな行事の一つです。町でも、上山の郡司貢さん根古屋の高野うめさんが、それぞれ、知事表彰、統計協会

現原小とその子ども達にも

第二十五回茨城県統計

グラフコンクールに入選

この日は、また、第二十五回茨城県統計グラフコンクール入選者の表彰が行なわれました。町では、学校の部で、現原小学校が、個人の部で、同小二年の、関口博文君、今泉貴美子ちゃん、中島和代ちゃん、宇ツ木純子ちゃん、高橋忠行君ら五人が共同研究した結果を、グラフに表わした「日なたと



日かげのひまわり」が、今回、認められた訳です。各々、茨城県統計協会総裁賞優秀賞、茨城県統計協会会長賞を受けました。関口君らの研究は、ひまわりを日なたと日かげで栽培し、その育ち方の違いを観察しながら統計・グラフにまとめあげたものです。現原小学校では、各学年ごとに、こうした研究をすすめており、その成果が、今回、認められた訳です。

⑦ 例 営業所得の場合

1	○総所得金額	2,005,500円
2	△控除	1人 192,500円 専従者控除一人の場合
3	○差引所得金額	1,813,000円
4	△雑損控除	50,000円 火災、盗難等
5	△医療費控除	50,000円 医療費、保険以外で自己で支払った分領収書必要
6	△社会保険料控除	80,000円 国民年金、健康保険料等
7	△小規模掛金	6,000円 共済掛金
8	△障・老・寡等控除	130,000円
9	△配偶者	180,000円
10	△扶養控除	2人 280,000円
11	△基礎控除	180,000円
12	△控除計	956,000円
13	○課税総所得金額	857,000円
14	算出所得割 各々	町民税 26,750円 県民税 17,100円
15	均等割 各々	200円 100円
16	合計	44,150

納期	1期	6・30	11,150円	備考
普通	2期	9・30	11,000円	給与の場合は特別徴収として、
徴収	3期	11・30	11,000円	12回分になり、
	4期	1・31	11,000円	給与から毎月差引となります。

⑧ 税率

イ 町民税の税率（累進税率）

課税総所得金額	%
30万以下	2%
30～50万以下	3%
50万～80万	4%
80万～110万	5%
110万～150万	6%
150万～250万	7%
250万～400万	8%
400万～600万	9%
600万～1,000万	10%
1,000万～2,000万	11%

ロ 県民税の税率	
課税総所得金額	
150万以下	2%
150万をこえる金額	4%
ハ 譲渡所得の税率	
特別控除を差引き、課税総所得金（別計算）	
長期	町民税 3.4%
	県民税 1.6%
短期	町民税 8%
	県民税 4%

⑨ 町税はどんなことに使われるか

今回は町民税の課税方法の概要と町税の使いみち等について申し上げますが、今後とも納税につきましては、特段の御理解と御協力を御願いたします。

④ 非課税

し、満二十歳以上の者で、収入のある者が課税の対象となり、一定の控除額を差引き課税標準額のある者が、所得割と均等割、課税標準額のないものが均等割のみ課税となり、また、二十歳未満でも、一定の収入金があれば課税の対象となります。

課税所得金額が算出されます。八、給与所得の場合 雇主より毎年十二月末日までに、給与の年間分の計算がなされ、勤労控除をし、社会保険、扶養親族など諸控除がなされ、所得税額を算出、税務署へ提出すると同じように給与支払報告が町長あて送られてまいります。

交通安全対策、通学時児童を守る安全施設の充実、消防体制の充実、水槽付自動車、小型動力ポンプの購入。

⑩ 生活基盤の整備 道路の整備、生活関連道路の舗装改良排水路等の整備。水道事業、衛生的な水の供給を図る。

以上

税金・ゼイキン・ぜいきん

―住民税（町県民税）について―

① 日本における税金の歴史

時代	内容
大化の改新まで	代表的な租税には次のようなものがあつた。 役（えたち）………労力を提供 田租（たちから）………穀物を献納 調（みつぎ）………穀物以外のものを献納
大化の改新以後	大化の改新で租・庸・調の制度が定められた。 租（そ）………田の面積に応じて米を納める。 庸（よう）………労力の提供だが、布で納めることが多かった。
鎌倉時代	庸調はだんだん衰微し、田租が中心となった。 田租（でんそ）………年貢ともいい米を納める。
江戸時代	庸調は、小物成や課役に変っていった。 地租（ちそ）………田租と地子（ちし）があり、地子は屋敷に課せられるもの。 小物成（こものなり）………山林などの収益や商人に課したもの。 課役（かやく）………臨時の支出にあてるため、労役を課したもので、例えば夫役（ふやく）など。
明治時代	明治六年 地租改正が行なわれ全国的に金納となった。 明治二十年 税率は地価の3/10と定められた。 所得税新設
大正時代	地租中心・間接税中心から所得税中心の税制へと移行。

② 町県民税とはどのようなものか

これは、住民の所得に対して、その額に応じて課せられるものです。町民税は昭和二十五年に創設され、県民税は昭和二十九年より町民税の一部を按分し、県の収入としたもので、現在も、町県民税とともに一括算定され、本年度は、町六〇％、県が四〇％の割合で、皆さんから納付していただいております。

これはともに、均等割と、所得を課税標準として課税されるものです。

③ 町県民税はどのように課税されるか

当町に一月一日現在で居住

⑤ 申告の義務

前に申しましたが、その者が、一月一日現在、当町に居住しており、二十歳以上であれば申告しなければなりません。ただし、給与所得者の場合は、雇主が人に代って一括して町長に申告する事になっております。

また、所得税の申告（税務署提出）をした方は、町県民税の申告をする必要はありません。

⑥ 町県民税の算定について

町県民税の計算については、所得税の計算の例によるほか、地方税の規定に従い、算定されるものであります。

イ 営業等所得の場合
営業等収入金―必要経費（商品の売上原価、租税公課、荷造運賃、水道光熱、減価償却費など収入をあげるために必要な経費）

ロ 農業所得の場合
普通田・畑・特殊作物・副業など、各種とも実態或いは収穫などの精算に基き、一定の標準が決められ告示され、

昭和四十九年度の歳入歳出予算は、一〇六七七〇千円でその内容は

◎ 税収入では、町民税四〇、九〇一千円、固定資産、軽自動車税、土地保有税など町税合計一四六、〇五一千円で、総予算の一三、六％です。

その他八六、四％は地方交付金、県・国の支出金、交付金、町債等であります。

◎ 支出では、教育費三四％、民生費一五％、総務費一四％、農林水産業費一三％、ほか二四％となっております。

本年度の主な事業

① 産業の振興、土地改良事業と生産団地の育成、農民研修センターの建設、手賀漁港の建設。

② 人づくりのための事業
小学校除濕温度保持工事、プール建設屋内運動場建設、公民館の社会教育活動の充実

③ 住みよい郷土の建設
老人対策、重度心身障害者等の医療対策、予防衛生のため集団検診、予防接種事業の推進、環境の整備、ごみ収集及びごみ捨場の整備、水洗便所の普及

④ 町民生活の安全確保

茨城県立経営伝習農場

昭和五〇年第四一期生募集

農業は、たいせつな職業、
さみのえらぶ道のひとつ、そ
して、茨城県立経営伝習農場
は、農業を職業にえらんだ若
者のひろばなんです。

茨城県立経営伝習農場（長
岡伝習農場）では、ただいま
次の要項で、生徒を募集して
おります。
希望者は、担任の先生に相談
して下さい。

1. 本科

○受験資格

中学校卒業（見込み）

○願書受付

二月十二日～二月二十五日

○選考

三月十三日（国、数、面接）

○募集人員

男子八〇名 女子二五名

2. 研究科

○受験資格

高等学校卒業（見込み）
○願書受付
一月十日～一月三〇日

○選考
二月六日（面接のみ）

○募集人員
男子十五名 女子十名

くわしいことは、麻生地区
農業改良普及所、または、直
接、経営伝習農場へお問いあ
わせ下さい。

茨城県立経営伝習農場の
電話は

〇二九二九一〇〇三〇三四
〇〇一〇
です。

季節のカメラ

いやなことがあったら
そこを離れればいい
高い所に登ればいい

人々のにぎわいを離れて
しかも、その人々の顔を
思い出したなら、また、
もどっていけばいい。
それまでは、嘆くことだ。
笑うことだ、怒ることだ。

お年寄に暖かい プレゼント 町商工会へ

町商工会では、産業文化祭
に、チャリティ大バーゲンを
催しましたが、このほど、そ
の総売上げ、二十五万四千五
百三十円を、町社会福祉協
会に寄附しました。

町社会福祉協議会では、こ
の善意を生かすべく、敬老会
の費用に充てることに決めま
した。

誕生おめでとう いざいます



出産

（10月）

赤ちゃん

柳瀬智則	久保田真理	金沢朋子	永峰律子	田宮正規	山崎裕美	根崎泰治	加野恵美	関野江美子	高野まさみ	笹目	鬼沢知保	梅原光寿
続柄	長男	長女	二女	長男	長女	長男	長女	二女	長女	四女	長女	長男

保護者	喜一	誠之	三千雄	正三	政一	孝雄	守男	吉良	勝郎	喜八郎	邦夫	勇寿
-----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----

部落	内宿	上洲	沖洲	柄貝	羽生	西蓮寺	根古屋	荒宿	谷島	藤井	藤井	藤井
----	----	----	----	----	----	-----	-----	----	----	----	----	----

おくやみを 申し上げます



死亡

（10月）

石橋あさ	田中ふさ	大曾善四郎	西谷なつ	谷田さく	青地トシ	塙タカ	関口クサ	大場保吉	田山アキ	金塚ユキ	栗林英	関口トヨ	森田ヨ
氏名													

年令	七七	八九	八四	七二	六七	四四	五一	七六	七五	五三	七〇	七九	六六
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

部落	部落	緑ヶ丘	西蓮寺	中山	荒宿	竹の塙	上宿	泉	藤井	根古屋	羽生	芹沢	沖洲
----	----	-----	-----	----	----	-----	----	---	----	-----	----	----	----